

第7回 長野都市圏総合都市交通計画委員会 経緯ほか説明資料

1. 全体スケジュールについて	1
2. 第6回委員会における主たる意見と対応.....	2
3. パブリックコメントの意見と対応	4

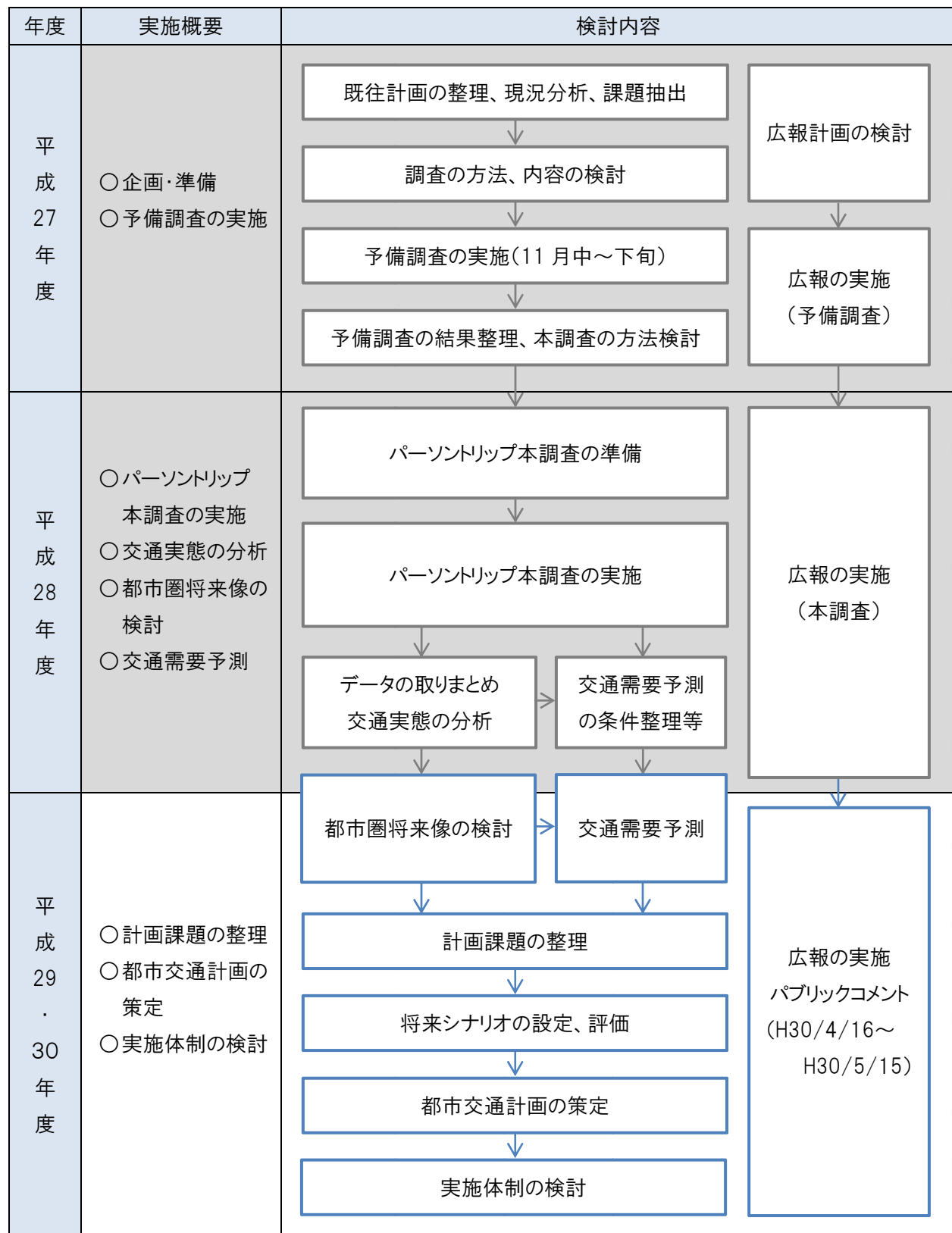
平成31年 1月 10日

長野都市圏総合都市交通計画協議会 事務局

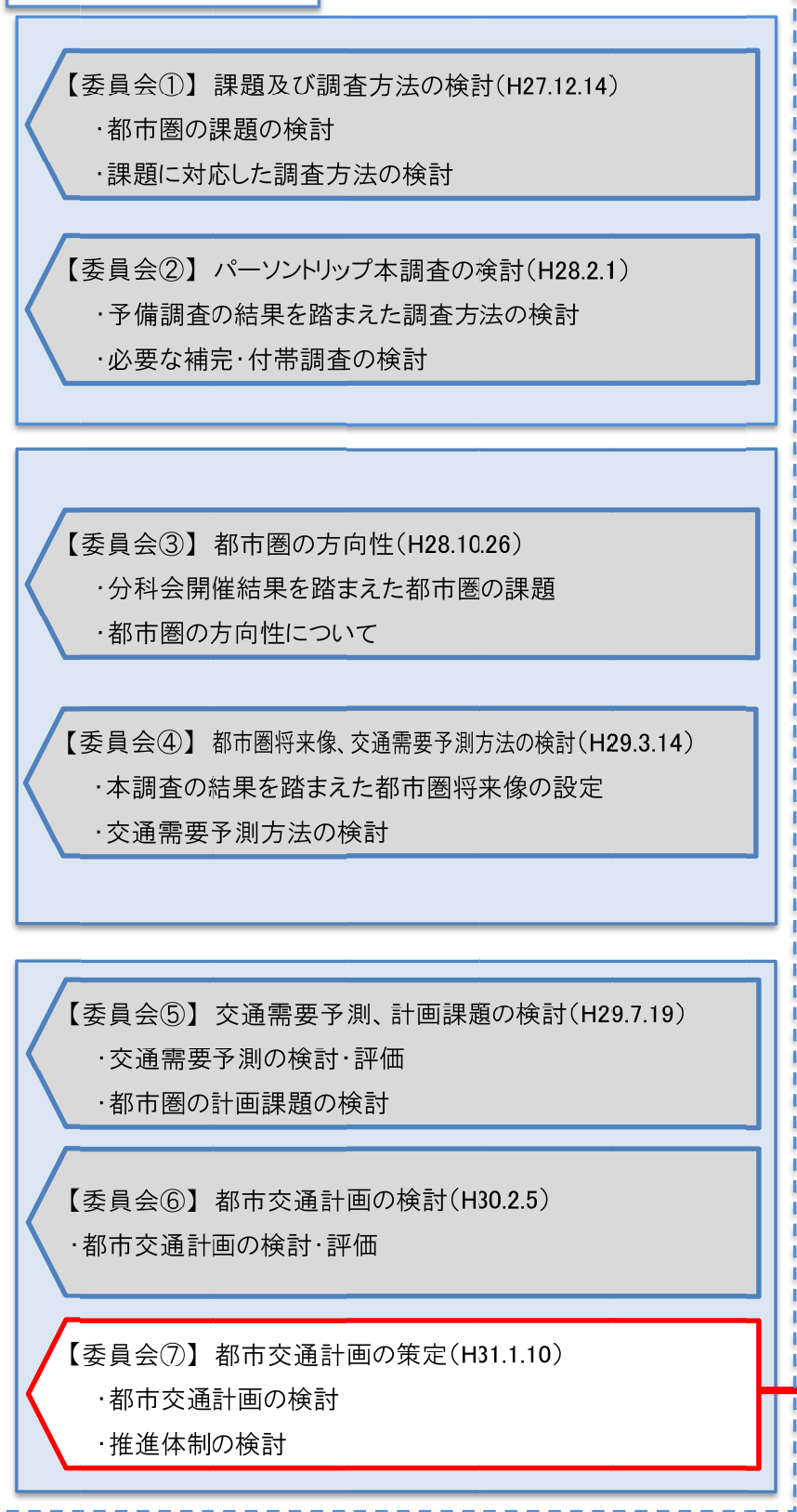


1. 全体スケジュールについて

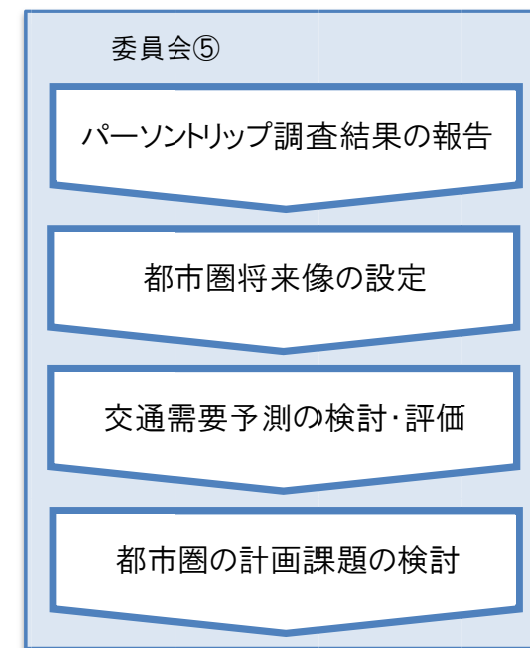
■全体スケジュール



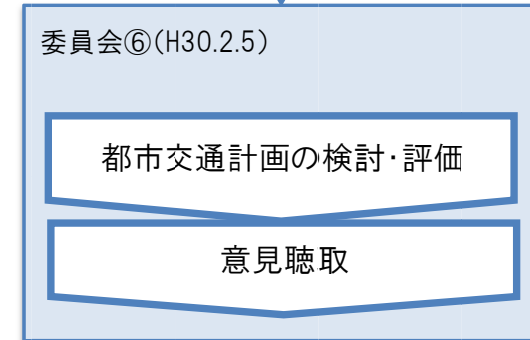
■委員会検討内容



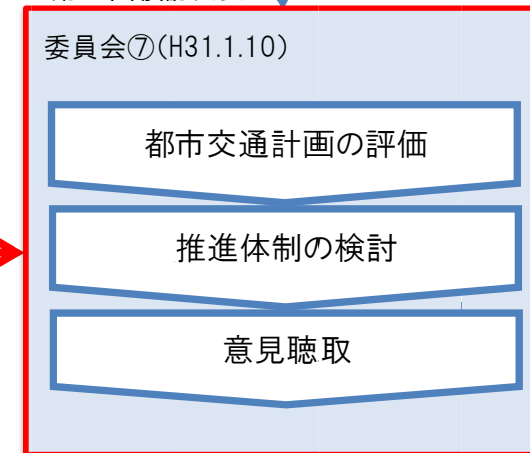
■第5回検討概要



■第6回検討概要



■第7回検討概要




2. 第6回委員会における主たる意見と対応

・第6回委員会(H30.2.5)および委員会後における主な意見と、意見に対する対応は次の通りである。

表 2.1 第6回委員会における主たる意見

区分	No.	主たる意見(委員会後の意見シートを含む)	対応方針	備考
人々の暮らしの足をまもる、支えあうについて	1	・将来(平成 47 年)のバス輸送人キロの予測結果について、どの拠点で乗り換えの抵抗の軽減があるのか等、具体的な施策に結び付く書き方にした方が良い。参考資料等で、現実的なところでの結果を示すことで、事業主体としては効果が確認でき、結果によっては別案の検討も可能となる。	・拠点と手段転換可能性を重ね図でも表し、現実的な箇所や自治体により一層努力する必要がある箇所が、見て分かるように整理する。	計画編 P27
	2	・「人々の暮らしの足をまもる、支えあう」とあるが、「支えあう」について具体的なことが論じられていないがどの様に考えているか。	・公共交通を使って「支えあう」ことを考えた表現として提案した。施策の方針として、公共交通を利用して支える、冬季や高齢者の「暮らしをまもり、支える」旨の表現を加筆する。	計画編 P41,60
	3	・支えあうについて、地域に住んでいる人に支えあうという意識を持ってもらうことが大切なため、そのあたりも考慮した方が良い。		計画編 P42,59
	4	・公共交通について、末端交通はタクシーまで考えているのか。また、タクシーについては、デマンドタクシー以外の施策も考えているのか。		・主要交通施策に、「タクシーの活用」を記載する。「タクシー利用が円滑に行えるカバー圏維持」を記載する。
	5	・ある拠点でパークアンドライド駐車場を整備すると別の路線の需要を奪うことになるのではないかと。各自自治体が自駅の需要を守っていくことを考えるような施策を打ち出した方が良いのではないかと。	・選択可能性を高め、公共交通利用の底上げを図る考えとして提案した。路線競合の可能性路線・区間は検討し、努力の必要がある旨を言及する。	計画編 P43
	6	・パークアンドライドの位置は、モデルで検証してほしい。しなの鉄道や北しなの線、長野電鉄との競合があり、乗客の取り合いが生じる可能性がある。各駅のパークアンドライドの可能性を検証するだけでなく、取り合いもモデルで検討してほしい。		
	7	・公共交通があることで、利用者の生活の質が維持・向上される視点も大切であるため、質の視点からも見てもらいたい。	・考え方のなかで、「公共交通確保により、選択肢が増え安心感が高まり、暮らしの質の向上が期待できる」旨を記載する。	計画編 P42
	8	・主要交通施策のダイヤの工夫について交通事業者とあるが、どのようなイメージか。	・ダイヤの整合による待ち時間短縮については、記載・提案済み(P43)事業の進め方については推進体制の中で言及する。	計画編 P43 計画編 P79
	9	・バリアフリー、ユニバーサルデザインによる施設整備とあるが、鉄道以外の市町村が管理する場所を指しているという理解で良いか。	・鉄道施設も含むため、実施主体には鉄道事業者を加筆する。	計画編 P65
交通需要予測の検討・評価	10	・料金施策について、公共交通の料金を変えることでパークアンドライドやロードプライシングの効果が変わってくると考えられる。料金施策について、もう少し踏み込んで検討するべきではないか。	・料金は、公共交通選択への寄与度が低い。交通事業者に依存する面があるが、P&R との連携、目的施設との連携などの考えられる料金施策について加筆する。	計画編 P24
	11	・交通手段分担モデルから路線を通るであろう松代や千曲市からのトリップを入れた中で、どのあたりにパークアンドライド駐車場を設置することで乗り換えてもらう可能性が高いのか示すことで検討余地が出る。	・パークアンドライドは、各市町と確認し実現性も踏まえて候補を挙げた。特に可能性や必要性が高いと考えられる、篠ノ井、川中島、松代について、詳細を検討した。	計画編 P26,27
	12	・写真だけで HOV レーンを語るのではなく、バス専用レーンを HOV レーンにするロジックを示す必要がある。	・資産(ストック)を有効活用する観点から、バス専用レーン実施時間帯の交通処理能力の有効活用をとって加筆する。	計画編 P24
	13	・もし HOV レーンを実施した場合、何台程度第 1 車線を走行し、それはバスの走行を阻害しないのか等を検討する必要があると考える。	・朝 6 時台までは自由走行速度であると考え、差を持って処理可能台数と考え検討する。	別途検討にあたり参考とする
	14	・公共交通の乗り換え促進からも、BRT 等の新交通システムの検討を計画の中に加える必要がある。	・公共交通への転換促進の一環として、基幹バス路線の BRT 化について加筆する。	計画編 P26
	15	・長野大橋をうまく利用して交通を分散する考えはないか。朝の時間帯の混雑は長野大橋の方が時間的には短いと想定されるが、情報提供しているのか、また、検討していく考えはないか。	・HOV レーン化とともに、旅行時間などの情報提供をあわせて行うとして加筆する。	計画編 P24
	16	・丹波島橋を渡った方が、長野大橋を回るよりも早いと考えるドライバーが多い。均等に分散させるためには、追加的な施策が必要である。		
	17	・相乗り促進のためにどのようなインセンティブを考えているのか。補助やポイント制度のあり方を検討とあるが、もう少し具体的な特典制度にならないと意識が変わらないと考える。	・仙台、金沢、新潟、長岡の HOV レーンを確認。それぞれ対象車両や乗車人員の差があるが、いずれも違反車両が多いとの指摘も。分科会を別途組織し、詳しく検討を行う。	別途検討にあたり参考とする
	18	・相乗りや HOV レーンは昔から議論されてきているため、考え方等をレビューし、技術的な施策に絞った議論をした方が良く考える。		
19	・幹線バスルート可能性について、広域化している街から他の街への移動を考えたときに、各市町の網計画や連携計画等で挙げられている幹線として位置付けられている道路や地域間幹線路線を含めるなど、今後人口減少の中でどのような利用になるかを示した方が、各拠点を結び付けやすいと考える。	・各市町の網形成計画等を踏まえ、候補ルートを再提案する。	計画編 P35	

区分	No.	主たる意見(委員会後の意見シートを含む)	対応方針	備考
	20	<ul style="list-style-type: none"> ・ロードプライシングの試算について、枠組みを示さないと分かりにくい。どこで料金を取るのか等、他の道路との関係もわからない。実現性は難しいと思うが、法的にも可能かどうか記載してもらいたい。 ・近年、国交省の資料にロードプライシングという文言が出てくるようになってきたが、法的にはまだ言及がないため、コラム的に示した方が良い 	<ul style="list-style-type: none"> ・コラム的な扱いとする。(継続的な研究が必要) 	計画編 P28
	21	<ul style="list-style-type: none"> ・幹線道路の整備について、構想道路がまず初めに記載されているが、(ウ)幹線道路の整備、事業促進の方が現実的であるため、こちらを先に検討した方が良い。 ・幹線道路網図について、18号バイパス等の表現も精査が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施策は、幹線、都計見直し、構想に順番に入れ替える。幹線道路網図は再精査し修正する。 	計画編 P19
	22	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画道路の見直しは、通常、長期未着手を廃止するという意味で使われることが多いが、そのような記述がない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画道路の見直しは、今後の人口減少を見据え、機能や役割の見直しを行う意味合いである旨、加筆する。 	計画編 P34
	23	<ul style="list-style-type: none"> ・各市町が PT 調査の結果を受けてどのようなことをしたいのか、どのように考えているのかも、具体的な路線を含めて記載できると、長野都市圏の色が出て良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各市町に計画案を確認いただき、記載内容を再提案願う。 	計画編全体
計画課題の検討	24	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人は手段や趣向が異なっており、公共交通を利用したり、日本人が行かない場所にも行くため、想定していない場所で混雑が発生する可能性もある。多言語対応だけでなく、もう少し踏み込んだ検討をしても良いと考えるが、現状では、分析も難しいと思うので、考え方だけでも載せるべきではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光パターンや手段選択が国内観光客とは異なり、特性に応じた観光交通の充実が期待される旨、加筆する。 	計画編 P66
	25	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人が運転するレンタカーの事故について話題にせざるを得ない状況であれば、言及すべきである。道の作り方や標識にも反映される。 	<ul style="list-style-type: none"> ・県警ヒアリングでは、外国人観光客のレンタカー事故の増加は確認されない。現時点では特に言及しない。 	—
	26	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄道がどのような使われ方をしているのか、PT 調査では域内だけになるが、別途、公共交通のアンケートや鉄道利用のアンケート、観光や交通に関するアンケートを通して、観光周遊や観光にどのくらい使われているか、データを提示してもらいたい。鉄道の使われ方によっては、2次交通で別の観光地につなげていくための検討ができるのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通を中心とした観光ネットワークをつくる、として加筆し、観光行動における公共交通の必要性や重要性を示す。 	計画編 P66
	27	<ul style="list-style-type: none"> ・観光目的のその他について、具体的なことが記載されていないが、観光行動は消費行動であるため、長野に来た人がどのくらいお金を消費している場所に行っているかを考えた場合、長野市内の街歩きは外せない。もしかしたら、善光寺に行く途中で、どこかへ寄って消費行動をしていると思われる。まち歩きをしている人が駅からどのようなルートで移動しているのかを今後調査することも考えられる 	<ul style="list-style-type: none"> ・その他の回答は、講演会やコンサートなどの文化的なもの、合宿や試合などスポーツ関連のもの、散歩やサイクリングなど移動を目的とするもの、調査時期がらお墓参りや法事といった内容である。 ・まちなかの観光資源にも言及し、まちなかでの観光行動を支えるための交通サービスの充実について加筆する。 	計画編 P66,75
	28	<ul style="list-style-type: none"> ・美術館は建て替えをしており、善光寺の2021年の御開帳にあわせて開館することを考えれば、善光寺+美術館および市内の美術館だけでなく、アートを視点とした人の動きを想定した検討もあって良いと考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通を中心とした観光ネットワークをつくる、として加筆し、観光行動における公共交通の必要性や重要性を示す。 	計画編 P66
	29	<ul style="list-style-type: none"> ・観光や高齢化、外国人等を考慮すると、観光ネットワークも公共交通が大事ということは記載してもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通を中心とした観光ネットワークをつくる、として加筆し、観光行動における公共交通の必要性や重要性を示す。 	計画編 P66
その他	30	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎は高齢者になればなるほど高くなり、高齢者の男女差も激しく、高齢者の女性はほとんどが送迎となっていると想定される。今後、そのような視点でも注視してもらい、整理してもらえれば、全国 PT 調査との比較もできる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全国的な傾向と同様に、高齢者女性では自ら運転する割合が低い。 	現況分析 P36
	31	<ul style="list-style-type: none"> ・長野県のバスロケシステムの導入というニュースがあったが、PT 調査に先駆けて取り組みをされている。長野市はポテンシャルが高いため、そのことも言及すると良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活や観光とも関連づけたバス運行情報提供の事例として、加筆する。 	計画編 P57
	32	<ul style="list-style-type: none"> ・バスロケについて、生活交通、観光交通を検討している。そのような話も記載することでアクションを起こしやすくなると思う 		
	33	<ul style="list-style-type: none"> ・各種計画への反映について、土地利用の計画と連携する部分が大きい交通計画であるため、拠点の中に、どの程度反映されるのか、また、まちなかについてもトランジットモールにも土地利用が関連、地元とも関係している。どの程度反映しているのか教えてもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・土地利用計画、まちづくり計画、拠点づくりに関する計画については、将来像共有のためにも十分な整合を図る旨、加筆する。 	計画編 P78
	34	<ul style="list-style-type: none"> ・3つの柱の根底の表現方法について、もう少し、柱を意識した表現で良いと考える。今回はこの柱を意識した案としてもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・(案)新たな交通計画は「交通ネットワークの充実と公共交通の利用や手段転換を促す」ことで、人々が安心して暮らし、移動でき、観光客も楽しみやすい都市圏をつくる。 	計画編 P13
事務局提案	1	<ul style="list-style-type: none"> ・自家用車コストについて 	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通利用啓発の一環として、自家用車の費用をコラム的に挿入する。 	計画編 P16
	2	<ul style="list-style-type: none"> ・柱施策の構成、順番について 	<ul style="list-style-type: none"> ・「人々の暮らしの足をまもる、支え合う」と「資産(ストック)を活用し、拠点とネットワークからなるまちへ変える」の順番を入れ替える。都市構造を明確化し暮らしをまもる支えるという順番とし、これらを使って観光にも取り組む、とする。 	計画編 P13


**対応方針に基づき計画案を加筆・修正
 委員長、副委員長へ確認後、パブリックコメントを実施**

3. パブリックコメントの意見と対応

・パブリックコメント(H30/4/16～H30/5/15)で寄せられた意見と、意見に対する対応は次の通りである。

表 3.1 パブリックコメントの意見と対応

区分	No.	主たる意見(委員会後の意見シートを含む)	対応方針	備考
丹波島橋の渋滞対策について(13件)	1	・渋滞対象に関するハード整備の具体的なアイデア、意見。(道路の拡幅、道路網の拡充、交差点の改良や部分的な車線数の増、信号の調整)	・具体的な取組については、本協議会で別途分科会を設けて詳細に検討を進める。 ・いただいたご意見については、分科会の中で共有する。	—
	2	・交通運用に関する具体的なアイデア、意見。(バスレーンの運用方法、バス運行本数の増加、バス停の増加、パークアンドライド)		
	3	・制度面を含む広範なアイデア、意見。(通勤手当、税制優遇、料金施策)		
新橋構想について(6件)	4	・新橋構想の前に、交通分散を図るソフト施策を進めるべきとする意見。	・河川、鉄道横断部の機能強化は、ハード・ソフト施策の取り組みを行うとしている。 ・構想道路については、交通量面のみならず周辺のまちづくりや地域づくり、リダンダンシーなどを考慮して引き続き慎重に検討するとしている。	計画編 P24 計画編 P19
	5	・新規架橋による渋滞緩和が必要とする意見。(犀川新橋)		
五輪大橋について(7件)	6	・五輪大橋無料化の早期実現に関する意見。 ・無料化までの時間が長すぎるとする意見。	・五輪大橋の無料化は、構想道路を含めた将来的な交通網のあり方を検討したうえで、ソフト施策の取組を行うとしている。	計画編 P24
長野市南部地域の渋滞対策(2件)	7	・関崎橋の渋滞対策、交差点の改良や拡幅に関する意見。	・都市圏が保有する資産を有効活用する観点から交通処理を考えるとしている。	計画編 P17
観光交通について(3件)	8	・観光施策や観光戦略に関する意見。 ・観光収入拡大等長野市の魅力アップにつながる絵柄を示すことが必要とする意見。	・観光交通ネットワークの充実や観光交通サービスの充実を方針として各施策を進めるとしている。	計画編 P66
	9	・道路ネットワークを活用した高速バス運行の確保と充実に関する意見。	・新たな交通計画の推進に向けて関係事業者との連携を図るとしている。	計画編 P79
	10	・観光バスと路線バスは目的が異なるとする意見。	・観光バスと生活バスの効率的な連携としてミックスユースを提案している。	計画編 P74
パークアンドライドについて(2件)	11	・パークアンドライドについて、実効性のある検討の促進が必要であるとする意見。	・地域のニーズに応じたパークアンドライドの取り組みやバス交通との連携強化に取り組むとしている。	計画編 P41
	12	・駅周辺以外でも、機能強化の促進とモーダルコネクの円滑化を図るべきとする意見。		
公共交通について(10件)	13	・運行本数の増加、運行ルートの実現など、サービス向上に関するアイデア、意見。 ・新駅の設置や、トランジットモール化など、施設整備に関するアイデア、意見。	・都市圏が保有する資産(ストック)を有効活用するとしている。 ・個別の取り組みや施策については、本計画を受け今後個別に検討する。	計画編 P17
	14	・利用しやすい施設整備、周辺環境整備に関するアイデア、意見。	・バリアフリーやユニバーサルデザインによる施設整備を提案している。	計画編 P62
個別の施策、取り組みのアイデア(16件)	15	・具体的な道路整備やバイパス整備、車線数増加等に関するアイデア、意見。	・個別の取り組みや施策については、本計画を受け今後個別に検討する。	—
	16	・施設の移転、鉄道の延伸などに関するアイデア、意見。		
	17	・道路整備に関する考え方、歩道の確保など、安全性を高めるアイデア、意見。		
	18	・自動車車両の多様化、自動車の利用目的(配達、業務、通勤)に応じたアイデア、意見。		
	19	・運転者の質向上、不特定多数の相乗りは問題であるなど、ドライバーに起因したアイデア、意見。		
計画の組み立て、表現方法(4件)	20	・資料のわかりやすさや、表現方法に関する意見。	・計画の概要(目的や対象範囲、流れ)を追記。用語集を追記。 ・普及版の概要版の作成。	計画編 P1～5 概要版
	21	・調査の精度、限界を明確にすべきとする意見。	・調査の具体的な項目や対象などを追記。	概要版 P3
	22	・まちづくりや計画への参加など、地域全体の今後に向けたアイデア、意見。	・地域の将来像を考えるうえで必要な交通施策としてとらえ、今後相互に補完する、	

3. 都市圏の課題と方向性

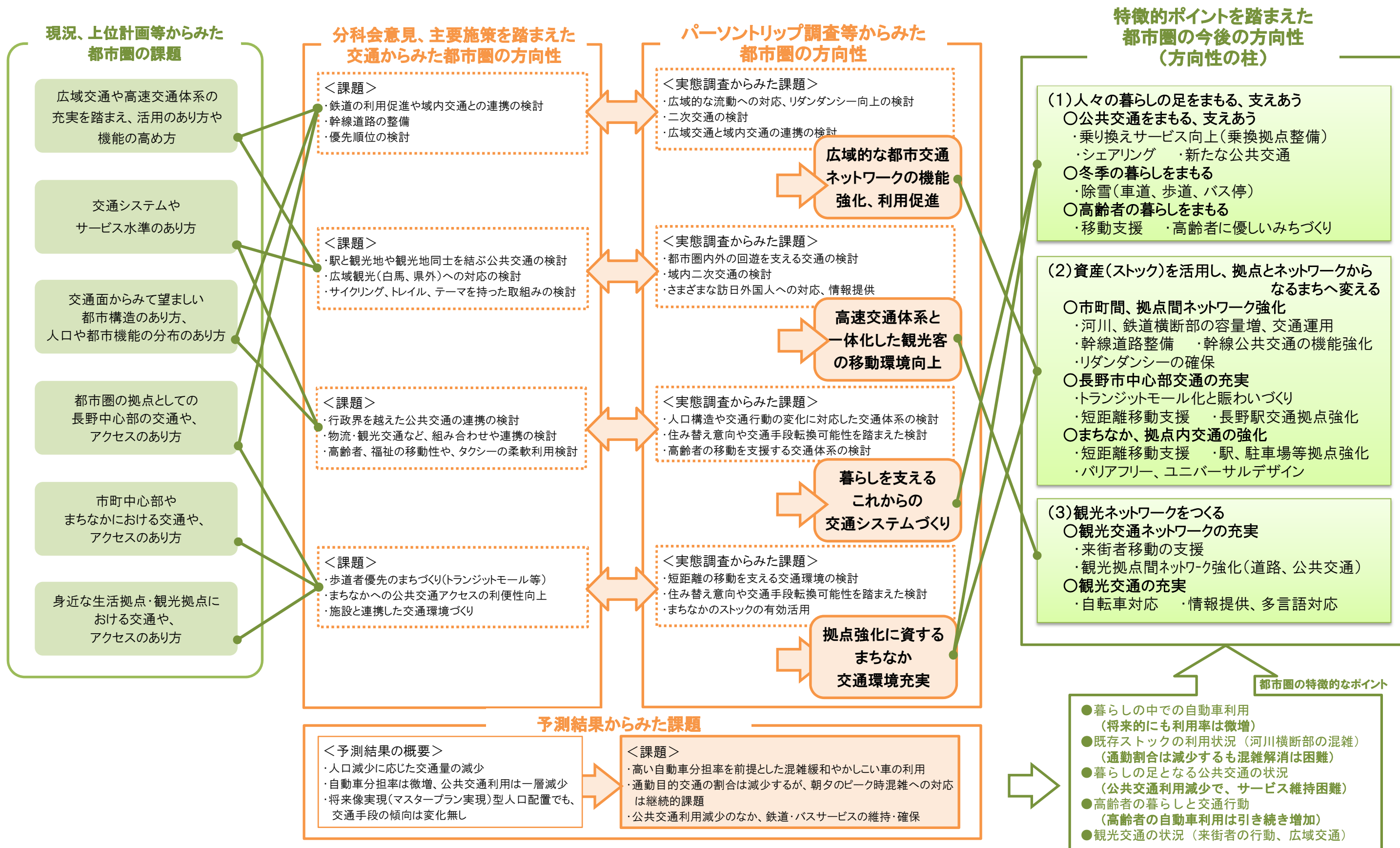


図 3.1 都市圏の課題と方向性